

建築構造シラバス生徒用（1年生）

北部工業高校

【建築構造】目的：建築物は、雨・風・音などをさえぎり、暑さ・寒さをやわらげ、そのなかで、人々が快適な生活が出来るようにくふうしてつくることが必要であるまた、平常時においても地震・台風・火事のような災害に際しても、人々の生命が危険にさらされないように、安全につくることが大切である。これらの目的にかなう建築物の構成、使用材料、組立方、保守などについて学ぶ。

学期	1 学 期				2 学 期				3 学 期																											
月	4月	5月			6月		7月		9月	10月		11月	12月		1月	2月	3月																			
週	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	
時 数	6			8(テ1)			2	6(テ1)		4		7		8(テ1)		7		6(テ1)		6		5		5(テ1)												
単 元 名	・オリエンテーション ・建築構造のなりたち ・建築構造の歴史的発達 ・建築構造の分類 ・建築物にはたらく力			・関連する法律・基準 ・構造の特徴と構造形式 ・木材 ・木材の接合			木材の接合	・基礎 ・軸組		・軸組 ・小屋組		・小屋組 ・床組		・階段 ・開口部		・外部仕上げ		・内部仕上げ		・内部仕上げ ・木造 ・木造 ・壁工法		・構造の特徴と構造形式 ・鉄筋		・コンクリート												
単元のねらい	1.建築物の構造体に使われている材料や組み立て方を学ぶ			1.建築物は、天災・人災から生命・財産を守るためにある。そのために必要な法律について学ぶ 2.我が国の伝統的木構造について学ぶ			木材の継ぎ手仕口	1.建物を支える基礎について学ぶ 2.壁体の骨組みである軸組について学ぶ		1.屋根を形成するための骨組みである小屋組を理解し部材名を覚える		1.床組の構成を理解し、部材名を覚える		1.階段の種類、階段の取り方を学ぶ 2.建物の出入口、窓の作り方役割を学ぶ		1.内部と外部を遮断する屋根や外壁に用いられる材料について理解する		1.床・内壁・天井によって構成される室内環境の保持について学ぶ		1.アメリカやカナダで発達したツォーバー工法		1.RC構造のラーメン構造、壁式構造を学ぶ 2.鉄筋の種類		1.コンクリートの種類、水セメント比、コンクリートの配合の仕方などを学ぶ												
補助教材	建築構造図集			同左			同左	同左	同左	同左	同左	同左	同左	同左	同左	同左	同左	同左	同左	同左	同左	同左	同左	同左	同左	同左	同左	同左	同左	同左	同左	同左	同左	同左	同左	
評 価 テ ス ト	毎時間課題(レポート)を提出させる			同左			同左	同左	同左	同左	同左	同左	同左	同左	同左	同左	同左	同左	同左	同左	同左	同左	同左	同左	同左	同左	同左	同左	同左	同左	同左	同左	同左	同左	同左	同左
学科行事							建築科進路講話						施設見学 山原産業		産業教育 フェア								建築科生徒作品展													
備考	毎時の課題(レポート)を出せば45点は、保証されるわけだから、きちんと出しましょう。												同左										同左													

情報技術基礎シラバス生徒用 (1年生)

北部工業高校

【情報技術基礎】

目的：この学習の目的は、「社会における情報化の進展と情報の意義や役割を理解」することと、「情報技術に関する基礎的な知識と技術」を身につけ「活用」できるよになることである。この目的にそって、実際にコンピュータを操作し、主として実習を通して確実に習得できるようにする。

学 期	1 学 期														2 学 期								3 学 期												
	4 月				5 月				6 月				7 月		9 月		10 月		11 月		12 月		1 月		2 月		3 月								
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35
時 数	5				18				12(5)		12(7)		7		7		14(7)		14(7)		7														
単 元 名	<ul style="list-style-type: none"> ・情報処理とコンピュータ ・社会におけるコンピュータ利用 ・コンピュータと人間 				<ul style="list-style-type: none"> ・ソフトウェアの基礎 ・文書処理ソフトウェア ・表計算ソフトウェア ・データベースソフトウェア ・マルチメディア 				<ul style="list-style-type: none"> ・プログラミングの基礎 ・順次処理 		<ul style="list-style-type: none"> ・選択処理 ・繰り返し処理 ・構造化プログラミングの応用 		<ul style="list-style-type: none"> ・データと2進数 ・論理回路の基礎 ・コンピュータの基本構造 		<ul style="list-style-type: none"> ・アナログとデジタル変換とインタフェース ・コンピュータによる計測と制御 		<ul style="list-style-type: none"> ・データ伝送の基礎 ・インターネット 		<ul style="list-style-type: none"> ・ネットワーク ・Web ページの仕組みと制作 		<ul style="list-style-type: none"> ・コンピュータの歴史と特徴 ・情報化社会における影の側面とその対応 ・情報に関するモラルと管理 														
単 元 の ね ら い	<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活と情報のかかりについて ・実際のコンピュータについて 				<ul style="list-style-type: none"> ・コンピュータのシステムを適切に管理するオペレーティングシステム、いろいろな処理用に作られたアプリケーションソフトウェアの基礎について ・日本語ワードプロセッサにより、文書の作成や編集作業などを通して、文書の処理方法について ・データの入力や主計、整列、検索、さらにグラフ作成などの方法について ・データベースの基本的な取り扱いについて ・マルチメディアに関連するアプリケーションソフトウェアの操作について 				<ul style="list-style-type: none"> ・プログラミングについて基本的な知識を身につけ、プログラミングに必要なフローチャートの描き方について 		<ul style="list-style-type: none"> ・繰り返し処理を制御するため、その回数指定を行ったり、繰り返し部分(ループ)からの脱出条件などの設定を行う方法について 		<ul style="list-style-type: none"> ・論理回路の基本と応用及びその動作原理について ・コンピュータ本体の構成と各装置の動作について 		<ul style="list-style-type: none"> ・自然界の物理量を感知する素子を用いたコンピュータ計測法、およびコンピュータからの信号による外部機器の制御方法について 		<ul style="list-style-type: none"> ・ある1つのサーバに接続する資格を得れば、基本的に、そこに接続されている世界中のサーバと接続できる。その仕組みや利用方法について 		<ul style="list-style-type: none"> ・ネットワークの仕組みとその構成要素などについて ・Web ページの基本的な仕組みや制作技術について 		<ul style="list-style-type: none"> ・コンピュータの発展と歴史とその特徴について ・情報化社会におけるコンピュータ利用に当たっての影の側面とその対応について ・情報社会におけるモラルと情報の管理について 														
補助教材																																			
評 価 テスト	授業に臨む姿勢は？ 話を聞く態度は？ 自ら取り組んでいるか？ 各単元を理解しているかなど																																		
学科行事	施設見学																																		
備 考	コンピュータ室を使用																																		